わかやまをつくり守ってます。

わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作り、災害をふせぐ「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムやていぼう、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

第18回 建築のしごと 「昔の建物をいまに再現」

「文化財」とは、昔の人々が残してくれた大切なもののこと。江戸時代に「観海閣」が建てられた和歌の浦(和歌山市)の妹背山もそのひとつです。歴史や文化を伝えるものだからこそ、建物を復元する場合にも注意深く作り直さなければなりません。今年完成した新しい観海閣は、江戸時代の設計を正確に再現して、お寺や神社を専門にする宮大工さんが昔から伝わる頑丈な工事方法でつくりました。

海底を掘ったら昔の柱の基礎を発見！

こんなこと知ってる!?

昔の写真や資料をもとに、観海閣はケヤキを中心にスギ、ヒノキなどの和歌山の木で復元されました。特にケヤキは集めるのに苦労し、何年もかけて集められたものを使ったそうです。

島にわたるには石橋を歩くしかなく、橋のとなりに車の通れる道を作ったりも。また観海閣は一部が海にせりだしているため、海水をせきとめて工事を行われました。

リハーサルで複雑な屋根の組み立てを確認！

屋根の長い軒を支える「はねぎ」や反り上がった軒先を作る「かやおい」も昔の建物の特徴の1つ。両端が自然にカーブする組み立てはとても複雑ですが、現場は海辺なので良い天気の日を選び、できるだけ短い時間で行う必要がありました。そこでまず木材の加工場で骨組みを仮に組み立て、手順を確認して細かい調整を行ったうえでもう一度分解して現場へ運びこみました。この仮組があったことから、屋根の組み立てがスムーズに進められました。

この人に聞きました

大変なこともありますが、苦労した方が後からいい思い出になるものです。

うえにし ひろゆき
上西浩之さん
御坊市立藤田小学校卒

時間をかけて、長く残るいい仕事を

この仕事をするようになって、大工だった父の「いいものを作りたい」という思いを自分も同じように感じています。通常の工事とちがい今回のような歴史的な工事は早く作ればいいというものではありません。自分の関わったものが残ることがこの仕事のやりがいですが、特に今回歴史的な建てものに関われたことがうれしいですね。

プレゼントコーナー

【生徒のみなさんへ】
担任の先生にお願いして、クラス全員や学年全員の数で申しこんでもらってください。(ご担任の先生、よろしくお願いいたします。)

【先生方へ】
生徒の皆さんに配布していただける場合はクラス全員や学年全員の数で申しこんでくださいますようお願いいたします。

申込方法 「学校名・クラス名(学年名)・冊数・住所」をファックスください。
Fax.073-436-2567 (一社)和歌山県建設業協会まで。

(一社)和歌山県建設業協会は「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。

安心を、未来への希望に。
新設 保険金区分 最高7,000万円に増額(従来5,000万円)
契約者割戻金制度により掛金負担が軽減
経営事項審査において15点の加点になります
法定外労災補償制度
諸費用補償(企業防衛)
建設共済保険
公益財団法人 建設業福祉共済団